

# 同援だより

2022年

新春号 (190号)

● 主な内容 ●

同援保育施設のあゆみ  
同援いぐさ保育園開設  
私の夢  
施設通信 他



## 新年のご挨拶

理事長 飯山 幸雄

明けましておめでとうございます。

本同胞援護会の各施設ご利用者並びにご家族の皆様、本会と様々な関わり合いのある関係者の皆様、そして本会運営の重責を担う役職員とご家族の皆様にはお健やかに新年をお迎えになられたことと存じお慶びを申し上げます。

一昨年、昨年と全世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症にわが国も悩まされ続けてきましたが、昨年秋以降は新規感染者の報告数は減少し、医療の逼迫度も改善され、社会経済活動も徐々に旧に復してまいりました。この間、本会の各施設におきましては職員並びにご家族等関係者の皆様方のご努力、ご協力により予防対策を徹底してきたことにより、クラスターの発生は見ずに済んでまいりました。皆様、本当にありがとうございました。今後、コロナワクチンのブースター接種の広がりや治療薬の普及が進むと考えられますが、昨年秋以降ヨーロッパ各国では感染が拡大しており、また11月の下旬に新たな変異株「オミクロン株」がWHOにより「懸念される変異株」に指定されるなど、世界的には危険な状況が続いており、わが国でも「第6波」の懸念が払拭されておられませんので、本年も念には念を入れて予防対策に万全を期してまいります。

さて、本会では昨年春2018年度から10年間の中長期計画における「第2期(2021～2023年度)」を策定し、改めて「人を大切にする」ことを法人運営の基本に据えることといたしました。私たち社会福祉法人の行う福祉事業について、社会福祉法は第3条において「福祉サービスの基本理念」を「福祉サービスは、個人の尊厳の保持を旨とし、その内容は、福祉サービスの利用者が心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援するものとして、良質かつ適切なものでなければならない。」と定めています。この理念を実現するために、法人として、まず日々直接サービスを担っている職員を大切に、安心して働ける職場づくりを進めてまいります。政府は、看護師、介護福祉士、保育士等医療・福祉の現場で働く職員の賃金の引上げを図るとしています。法人としては、この公費を有効活用して職員給与をより改善し、働き甲斐のある職場づくりを進めてまいります。その上で職員の皆さんには是非ともサービスを提供するご利用者の方々を大切にして仕事に励んでいただきたいと思います。そうして本会に関係するすべての人が幸せを実感できるようになってほしいと考えます。

本年も同胞援護会は都民の皆様生活をサポートし、安心して暮らせる地域社会の充実に向け努力を続けてまいりたいと存じます。皆様のご多幸を祈念申し上げます。

# 同援保育施設のあゆみ

企画部長 神田 祐一

## 同援保育のはじまり

同援保育施設のあゆみは、軍事色が濃くなりつつあった昭和期からはじまりました。戦時体制に入ってから我が国の婦人の労働力は益々必要とされ、託児所の需要の高まりとともに、昭和13年12月1日武蔵野母子寮内にホマレ幼稚園（現在のむさしの保育園）を開設し母子寮内の幼児14人の保育が開始されました。これが同援の保育の原点となります。

昭和17年には定員を60名とし、地域の児童も保育するようになり、保育者の豊かな人間性を育てるために園主催の勉強会を開催するなど先駆的な役割も果たしていました。戦後の混乱期から昭和のベビーブームでは、乳児出生率も増加の一端をたどり、同援でも昭和18年から25年にかけて、7つの保育園を順次開設していくことになります。



ホマレ学童館（昭和16年）

## 日曜保育のはじまり

同援の施設整備とともに、昭和27年には社会福祉法が制定され、同援の保育部門が確立されていきました。この頃、むさしの保育園でおこなっていた日曜保育は当時としては画期的なものでした。

昭和30年代に入り、ようやく保育問題に光が当てられるようになります。むさしの保育園では、保育問題や保育内容についてNHKの取材や雑誌社から寄稿依頼がたびたびありました。この頃重要視されていたことは、家庭環境と保育内容を出来るだけ密着させるということでした。そして、このことが後の保育指針に盛り込まれていくことになります。

## 保育ニーズの高まりとともに

昭和40年代、両親の共稼ぎ世帯が急増していくにつれ、カギっ子対策が打ち出されるようになりました。朝夕2時間の延長保育の始まりです。同援の保育園でも、いち早くニーズに応じていきました。「福祉元年」といわれた昭和48年、保育内容にも社会教育的な要素が社会から求められるようにな

ります。この頃同援の保育園では、友達と遊ぶと楽しい、みんなで仲良くなど「子どもらしさとは」を改めて日々問いながら保育を進め、家庭から失われつつあった年中行事も充実させていきました。陶器の食器を使った給食、バラエティーに富んだメニューの工夫にも力を入れはじめました。

昭和50年代、待機児童は99万人と発表され、保育所不足は都市部を中心に拡大していきました。ベビーホテルが急増するとともに不幸な事故が相次いでいきました。この頃の労働市場は若い労働者を必要とし、女性は子どもが出来ても働き続けるのが当然であり、「ポストの数だけ保育所を」という言葉が生まれました。このニーズに応え、昭和50年から58年にかけて5つの保育園を開設し、一時保育や障害児保育など多様なニーズが拡大していく中で、同援の各保育園も零歳児の積極的な受入れをはじめ、これらの要望に応じていきました。

## 地域とともに

平成2年、25年ぶりに「保育所保育指針」が改正されました。保育者主導から乳児中心の保育へと180度転換（個人の発達の違いを考慮し一人一人を大切に援助する）。併せて保育所という存在が地域社会に開かれたセンター的要素をもつよう求められるようになりました。核家族化によりお年寄りと触れ合う機会が少なくなった園児の増加と、高齢者のひとり暮らしの増加を背景に、昭和郷保育園では、昭和郷総合調理場で作ったお弁当をお年寄りの家まで届けるサービスを始め、子どもたちにも出来る小さなボランティア活動を通じてお年寄りと触れ合っていました。保育園児による配食サービスの始まりです。後に昭島市社会福祉協議会からの依頼により、昭島地区3園の園児による高齢者への配食サービスが事業化していくこととなりました。

同援の保育施設は、社会の変遷とともに子育て環境が大きく移り変わる中であっても、利用者のニーズに積極的に向き合いながら、今も9つの保育園が82年の歴史を刻み続けています。



配食サービス

# 同援いぐさ保育園開設

開設準備室長  
唐澤 江里子

令和4年4月に杉並区井草5丁目に「同援いぐさ保育園」が開設され、当法人にとって10か所目の保育所となります。杉並区は平成30年度より4年連続で待機児童ゼロを達成しています。しかし現状では、未だに認可保育所等への入園希望が叶わなかった方が15.9%という状況にあります。また育児休業を取得して復帰されるケースも多く、1才児クラスへの入園希望が増加する傾向にあります。

杉並区は「すべての家庭が希望する認可保育園に入園できる環境を整えていく」という方針のもと、今後とも地域ニーズに合わせた保育所の開設を予定しています。

同援いぐさ保育園は西武新宿線井草駅下車1分という立地の区有地を活用して開設されます。昭島市に4園、区部に5園ある当法人の保育園の中間地点になるため、異動による人材の活性化となると考えています。1歳児から5歳児まで定員60名、法人内の保育園としては小規模の園です。鉄骨2階建てで耐震に優れ、安心・安全に配慮した設計・木製建具を使用する等暖かみを感じる材料を選定しています。また、可動間仕切りによりフレキシブルに活用できる保育室や日当たりの良い園庭と屋上が設けられます。

現在、来春3月の竣工を目指し建設中のため、利用者に向けて法人ホームページやツイッターを利用し、近隣の区民集会所で入園

説明会を実施してPRを行っています。説明会後に同じ区内のむさしの保育園に見学へいらっしゃった保護者もおり、新園に対してもイメージができたようでした。

今年度保育グループでは「ミライ委員会」と称して飯山理事長を筆頭に将来構想の検討をしています。少子化が進んでいる今日、10年、20年後も同援の保育園が利用者から選ばれる保育園であるために、保育理念の再確認、同援の保育園が目指す保育や職員像等を話し合っています。

今回同援いぐさ保育園の開設にあたり、事業者応募の準備の中で先輩方が積み重ねてきた同援の保育というものがいかに丁寧に進められてきたかを実感しました。今までの積み重ねの中で守っていくべきもの、時代の変化によって新しく変えていかなくてはならないものを見極めていきたいと思います。また、それらを推し進めていくには、現場の職員の力が必要です。各自自治体で待機児童が解消されていき、次は「保育の質の向上」が求められています。お預かりするお子さん同様に職員も大切にしていって、それぞれの力を発揮していきたいです。そして井草の地で子育て支援の拠点として、心地よい縁側のような場所となれるよう準備を進めて参ります。今後も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



## さくらんぼ

利用者 海野 智明

福祉ホーム・さくらんぼの長期利用期間が終了した後の事を考えるとグループホームよりもアパートを借りて一人暮らしを希望します。(前に入っていたグループホームでの辛い経験がある為)

間取りは？最寄り駅まで徒歩何分？土・日の食事や平日の夕食を考えるのが面

倒な時のファストフード系の飲食店、平日の朝食用食材買い出しの為にスーパーマーケットが、1キロ圏内にあるかとか、業務用スーパーが徒歩30分圏内にあるかとか、食材費を抑えられるかが鍵。

最寄り駅＝通勤面・定期通院面 例・乗り換えで東京メトロ半蔵門線に接続できる範囲(通勤面) 乗り換えて東京さくらトラム(都電荒川線)・東京メトロ丸の内線・JR山の手線に接続できる範囲(定期通院面)

間取り ユニットバス可、

洗濯機室内置き、ベランダに大きめの洗濯ばさみ56個くらいのやつが2個吊るせるスペース+掛布カバーがフェンスに掛けられるスペース。

6畳+1.5畳の収納スペース。洋室希望。

(原文をそのまま掲載させていただきます)



## みなと保育園 5歳児将来の夢

- フェレットが大好きで、沢山の動物を助けてあげたいから動物病院の看護師になりたい。(あんな)
- リュウソウジャーのカナ口の妹を見たらとてもかわいくて、自分もテレビに出たい。(いいな)
- 泥棒を捕まえて悪い人をなくすような、警察官になりたい。(ゆうた)
- もっと、空手で強くなって黒帯の選手になって大きな大会に出たい。(たいき)
- オリンピックのバスケットボールを見て、試合に出たいと思ったからバスケットボールの選手になりたい。(じょうげん)
- 火事になると困る人がたくさんいるから、強くてカッコいい消防士になりたい。(れおん)
- 小さい子どもの病気を治したいから、やさしい看護師さんになりたい。(りお)
- シャチやサメを捕まえられような、漁師になりたい。(そうた)
- サッカークラブのお友達みたいに、走るのが早くなってサッカー選手になりたい。(ゆういちろう)
- 外国の山火事を見て、かわいそうな動物を見て助けたいと思ったから消防士になりたい。(そう)
- 事故を起こしたり、喧嘩したり、物を盗む人が無くなるように、強い警察官になりたい。(ともし)



## 今日は何を食べましょう？

～ひかり苑から～

ひかり苑 管理栄養士 山川 聡

10月に入り緊急事態宣言も解除となりましたがまだまだ収束していない昨今、色々と気を使ったり以前と同じような生活が出来ないことがあります。ご利用者も外食や外出がなかなか気軽にできない状況です。当施設はサンホーム、ひかり苑の共同調理場にて栄養士、調理員共にご利用者に楽しく、美味しい食事を提供する事に努めております。施設ではコロナ禍においても外の雰囲気を感じて頂くように月1回のホーム喫茶、特別なお食事、サンホームと合同企画で郷土料理、コロナに負けないフェアとして免疫力がアップし元気の出るメニュー（炙りサーモン親子丼）等実施致しました。

中でも郷土料理は10年以上続いており日本全国、都道府県の郷土料理を実施し今では日本を飛び出し海外のお料理も提供しております。提供時にはメニューやその地域の特産物、観光スポット等の案内や写真を添え食事前後でも話題が広がりその地域に行ったような気分になれるよう工夫をしています。

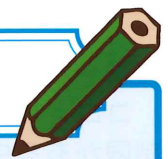
また、ホーム喫茶では外出がなかなか難しい



中でも BGM や旅動画を流すなどお店の雰囲気が出るように努め、ご利用者には好評です。

これからも見た目も楽しめ美味しく、笑顔でにこやかにいられるような食事を作っていきます。

## 2021年6月企業型確定拠出年金制度を導入しました



昨今の少子高齢化に伴い、将来国から支給される公的年金は減少傾向にあり、このような状況の中、国としても公的年金を補完する制度として2001年10月に『確定拠出年金法』が施行された背景があります。その『確定拠出年金法』の第1条の目的の条文には『国民の高齢期における所得の確保に係る自主的な努力を支援し、もって公的年金の給付と相まって国民の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする』と定義されており、当会としても、本格的な少子高齢化を迎える中、また、職員の多様化するライフプランに対応するため、ライフプラン支援規程を新設し、新たな確定拠出年金制度（DC）を6月1日に導入いたしました。

導入までには、さまざまな出来事がありました。運用管理機関の選定では多くの機関が手を挙げていただきました。その後はオール法人で取り組み、全ての事業所の協力を得ながら、実に31回に及ぶ職員への説明会を開催。加入を検討している職員向けに20回の運用説明会を開催しました。

現在では対象者の半数近い職員が加入しています。

制度導入までに事務職員をはじめ、ご助言やご尽力くださいました三井住友銀行さま、日本生命さま、福祉医療機構さま、三菱UFJ信託銀行さまには心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## コロナ禍における影響と その中でホッとしたこと

### ニューフジホーム

生活相談員 福島 洋一

#### コロナ禍の家族交流

第5波の頃から比べますと新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に少なく、少しホッとした気持ちと、次の感染拡大に向けてまだまだ気を緩めてはいけないという気持ちが混在しているような状況です。寒い季節は様々な感染症も流行しやすくなるので、職員一同気を引き締めて業務に取り組んでいきます。

ニューフジホームでの生活ですが、現在もご利用者の皆さんには、ご家族との面会を制限付きでしてもらっています。事前に予約をしていただき、ビニールのフィルター越しで、15分程度の時間で行っています。皆さんには日々我慢を強いている状況で、大変心苦しいのですが、予断を許さない状況が続いていますので、引き続き感染症対策をしながら、ご利用者とご家族が交流できるようにお願いを続けております。そんな中で、何かできることはないか、職員間で考えまして、

ご利用者のお誕生日会に、お祝いをするだけでなく、ご利用者からご家族へ向けて、お手紙を書いてもらいました。中々満足に会えないご家族の方々のお気持ちを汲み取り、ご利用者から直筆でお手紙を書いてもらうことにより、少しでも安心してもらえるのではないかと考えて行いました。ご利用者の皆さんの中には、字を書くことから遠ざかっている方もいて、文章を書くのが大変そうでしたが、それでも一文字一文字お気持ちを込めて書いておられて、きっと思いが届いたのではないかと感じております。



### さいわい福祉センター

生活支援員 野村 祐志

#### コロナ禍だからこそ

コロナ禍において、日中活動やイベントなど制限がある中でも、利用者の皆さんに喜んで頂けることは何だろう？と職員全員で考えてきました。その中で、皆さんの多くは食べることが大好きですから、月に一度テーマに沿った食事会を行うことにしました。利用者の誕生日にはその方の好きなメニューを。夏祭りの時期はお神輿やハッピーを作り、たこ焼きや焼き鳥などお祭り気分たっぷりのお食事を。ハロウィンではデザートまでカボチャづくしのラインナップとなりました。いつもと異なる雰囲気の中で、食事を目の前に期待いっぱいの様子や、普段より食事の進みが良く、おいしそうなお表情を見ることができるのが支援の中で嬉しい瞬間です。今では重度の障害がある皆さんに喜んで頂ける新たな楽しいイベントとして定着しました。

食事会後の振り返りでは、もっとこうしたら喜んでもらえる！というアイデアや、

より安全に行うための提案が毎回出てきます。世間では感染者数の減少傾向にありますが、変異株の発生など不安な状況には変わりありません。利用者の皆さんが楽しみにしている屋外活動や外での食事を楽しむことができるまでにはあと少し時間がかかりそうです。一日も早い収束を願いながらも「ピンチをチャンスに」コロナ禍だからこそ考えたこと、実践してきたことを糧にして、今後も利用者の皆さんが楽しめる企画を考えていきたいと思えます。



## 同援みどり保育園

調理員 山田 聖子

### お芋でクッキング

秋も深まり、食べ物の美味しい季節がやってきました。先日、保育園の園庭で「焼き芋会」を行いました。親子遠足で子ども達が掘って来たお芋です。大きなものから小さなものまでゴロゴロとたくさん掘ることが出来ました。保護者の方もなかなか出来ない体験で、子ども達と一緒にお芋掘りを喜んでいました。

園庭でじっくりと焼かれたお芋の味は格別だったようで、お迎えの時に給食のサンプルケースに展示された焼き芋を指さしながら、嬉しそうに保護者に話す子どもたちの姿がとても微笑ましかったです。

焼き芋会で使いきれなかったお芋は、4・5歳児がクッキングを行い、「さつま芋ご飯」を作りました。新型コロナウイルス感染症の予防対策をしながら行い、今までとは違う形でのクッキングとなりましたが、自分で掘ったものは特別なよう



で、「おいしかったよ!」「おかわりしたんだよ!」とニコニコした顔で教えてくれました。

コロナ禍だからこそ、自粛していた事が形を変えてできた時の喜びや楽しさ、出来ることの有難さを、より強く感じられたひと時でした。

これから新型コロナウイルス感染症が収束していても、以前同様の行事は出来ないかもしれません。その中でも色々工夫をし形を変えていくことで、子どもも職員も共に成長できる保育園でありたいと思います。

## 昭島病院

看護部主任 小菅 真由美

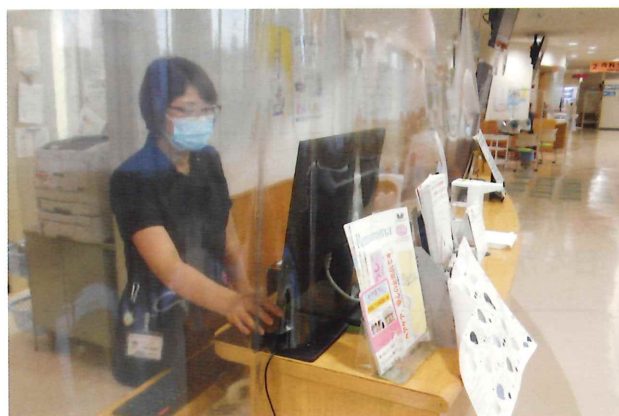
### 一日も早い終息を願って

2020年1月終わり頃から新型コロナウイルス感染症の拡大が報じられるようになり、まだ、よそ事のように思っていた数カ月のうちに、当院でも発熱患者が増えていき、今までの生活が一変してしまいました。

発熱外来の立ち上げ、二次感染予防策として院内の滞在時間の短縮、隔離環境での診察や環境整備、感染予防策の徹底・強化、スタッフの健康管理など、現在も様々な取り組みを行っています。発熱外来は救急外来のスタッフが担当しています。疾患による発熱患者と新型コロナウイルス感染を疑う患者のトリアージを行うことがとても難しく、ほとんどの発熱者は発熱外来で対応しています。救急外来スタッフは救急搬送患者と同時に発熱患者の対応も行うため、スタッフの応援体制が必要で、診察室の調整など様々なことで負担が多くなっています。まだ、何が正しいのか模索しながらも日々変わっていく職場環境の中で、スタッフからは「もし感染してしまったらどうしよう」「家

族に移してしまうのではないかと不安」などの恐怖心や周りからの差別・偏見などの言動が聞かれ精神的負担は大きいと感じました。それでもみんなで協力して行ってきたことが現在までクラスターを起こさずにこれた努力の結果だと思っています。

今は発熱患者も減り、マスクの下ではありますが笑顔で会話をすることが増え、生活環境も戻りつつあります。新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を心より願っております。



# ご支援ありがとうございました (敬称略順不同)

**ご寄付** NPO 法人タイガーマスク基金◇吉田寛子◇宮澤貞子◇福原初江◇(株)アビック◇品川卓正

**後援会** 山内悦◇伊藤彰浩◇細谷寛子◇中村定徳◇幡野信子◇宮奈多摩江◇鮫島恭江◇折居千恵子◇大橋政照◇宮澤民雄◇高仲智子◇福家謙介◇青木薫◇川井文子◇磯野輝夫◇内田祥二◇平尾正二◇南山徳英◇林美枝◇(株)三菱 UFJ 銀行◇(有)アタック 代表取締役 大澤茂◇(株)金井商店 代表取締役 金井務◇(株)シイ. エイチ. エス 代表取締役 三浦壤二◇国立厨房サービス(株) 代表取締役 藤原章太郎◇(有)海老山◇ネオ・ハルト(株)◇浦野工業(株) 代表取締役 浦野静夫◇昭和の森エリアサービス(株)スマイルケア昭和の森◇合資会社松野薬局 会長 松野榮仁◇雪印メグミルク下坪牛乳販売店 下坪唱三◇(株)フソー 代表取締役 山田政宗◇風間造園(株) 代表取締役 風間脩一◇(有)まゆみ書房◇ヘアパルおかもと

岡本廣◇(有)横手モーターズ 代表取締役 横手利男◇(株)昭和造園◇東京冷機工業(株)◇(株)豊明◇(株)ハーティーマネージメント 代表取締役 阿部博一◇(株)増田コーポレーション◇中村屋魚店◇(有)原島組 代表取締役 原島和敏◇(有)リハビリサービス◇(有)ラッコクリーンサービス 代表取締役 佐々木憲寅◇長崎三丁目町会 会長 足立憲昭◇創洋紙商事(株) 代表取締役 中屋守敏◇唐沢電機(株) 代表取締役 小林利美◇昭島サンセルフ 高野裕志◇(株)コスモス医工代表取締役 小林寿男◇(株)サン・ホワイト 代表取締役 三宅真◇(株)キタジマ◇(株)ワンダー東京◇(有)いとう教材社 代表取締役 伊藤浄堯◇(株)相田土居設計 代表取締役 土居志朗◇(株)ミートショップの鈴政◇アーキベルク一級建築士事務所◇日清医療食品(株)◇おしゃれの店ひらまつ 平松秀治◇水村肉店 水村豊◇(株)橋本工務店 代表取締役 橋本誠一◇(株)ケイエス機材 代表取締役 岸学◇原町三丁目町会 会長 土屋勝◇昭島ガス(株) 代表取締役社長 平畑文興

## 資格取得のご紹介

次の方が資格取得しました。  
日頃の業務に活かし、ご活躍を期待します。

### ■ 介護福祉士

立川福祉作業所  
生活支援員 川原 瞬

### ■ 保育士

サンライズ武蔵野  
母子支援員 島袋 江利子

### ■ 公認心理師

さいわい福祉センター  
生活支援員 本村 隆浩

祝  
表彰・感謝状  
受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方々が表彰されました。  
おめでとうございます。

### 【東久留米市消防署長表彰 防火管理者業務適切功労者】

●さいわい福祉センター  
副施設長 茂木 康子



新型コロナウイルスが発症し約2年間、今までとは全く違った生活環境を余儀なくされ、感染対策にマスク、アルコール消毒といった行為が今や当たり前の習慣となり、さほど違和感がなくなってきました。去年は東京オリンピックもあり、その後、物凄い勢いで感染が拡大し、一時はどうなってしまうのかと心配になりましたが、やっとここにきて感染者数が激減し、終息を期待させる状況になってきています。緊急事態宣言も解除され、休日に近所の河川敷を散歩していると、公園で遊ぶ子供たちも増え、笑顔で走りまわる姿がとてもうれしく思えました。早くマスクのいらぬ生活を送れる日々が待ち遠しいです。

昭島病院 森田 記

発行者 飯山 幸雄  
社会福祉法人 財団法人 東京都同胞援護会  
東京都新宿区原町 3-8  
電話 03(3341)7161 <https://www.doen.jp>

印刷所 東京都同胞援護会事務局  
東京都墨田区両国 4-1-8

令和4年1月5日 発行

